

◆大型連休は美術館で遊ぼう

4月末の大型連休前まで宇賀治徹男水彩画展を開催しています。自宅の傍にある信濃川の堤外地をモチーフに、農家の暮らしと四季折々の変化を描いた作品が展示され、とても落ち着いた雰囲気の出展会です。

大型連休の初日からは、『既視から未視へ』と題し、高橋洋子さんと霜田文子さんの二人展を開催いたします。二人の女性作家の個性のぶつかり合いが見どころだと思えます。お二人とも既成概念にとらわれない個性的な表現を目指しています。高橋さんは銅版画だけでなく、金属と版画を組み合わせた作品も展示します。また霜田さんは、油絵とバーントドローイングを



宇賀治徹男「堤外地」

展示します。バーントドローイングとは紙を焦がして模様を描く手法です。ゴールデンウイークにはバーントドローイングを体験できる「火遊びでアート」や、ドライポイントのワークショップも開催します。ぜひご参加ください。
(広田かおり)

◆老化④

赤い筋肉を鍛えるには、適度な有酸素運動が良いといわれます。適度な有酸素運動としてはウォーキングが代表格です。また、体の奥にあるインナーマッスルも赤い筋肉で、これを鍛えるにはヨガや太極拳などのスローペースな運動が最適といわれています。

つまるところ、酸素を活用してミトコンドリアにエネルギーを創り出してもらい、その結果できる活性酸素を酸化作用のある栄養素で除去するというサイクルがみてとれます。今はやりの細胞レベルで考えられたサプリメントも、このサイクルのなかで活躍するのかもしれない。

老化に対処するのに肝心なことは、少食を心がけ、様々な栄養素をきちんととり、適度に運動すること。意外にも、普段の生活で交わされるシンプルな話に帰結したようです。

(岡西英孝)

◆花粉症になって三十一年

朝、家族のくしゃみが目覚まし時計代わりになる季節になりました。

出勤して美術館の玄関掃除に出ると、黒いタイルの上が花粉で薄っすらと黄色くなっ

ているのを見ただけで、鼻がムズムズしてきます。

先日上京した時の花粉飛散情報の予報は「多い」でした。花粉が付着しにくい繊維のコートを着て、眼鏡とマスク、花粉ブロックのスプレーで予防していましたが、帰ってきた翌朝から涙と鼻水が止まらず、苦しい思いをしました。花粉皮膚炎にもなり、肌もボロボロでマスクが手放せません。

去年までの数年間は飛散量が少なかったのか、あまり症状が出なかったのですが、油断してしまいました。認識が甘かったみたいです。スギ花粉の次にはヒノキが待っています。大好きな桜の木を見上げて花を楽しむことができるように、特効薬を期待しています。

(佐藤良子)

◆それぞれの道

春は別れと出会いの季節です。娘も義務教育を修了し、無事に新しい道に進むことができました。これも周囲の方々の支えがあつて



宇賀治徹男「堤外地待春」

のことだと思っています。ありがとうございます。卒業式では入場で涙、校長先生の送辞で涙、卒業生の合唱、退場で涙と、最後まで涙腺緩みっぱなしの私でした。問題のビデオ撮影は、バッテリーやメモリー切れもなく、無事に撮影を成功することができました。

生徒たちはという何ともあっさりしたもので、クラスに戻り、担任の先生や同級生と笑顔で記念撮影をしていました。みんなの笑顔が清々しく、そして、たくましく目に映りました。後日は受験、合格発表、新人生オリエンテーションなど、それぞれの道をみんなが歩き始めました。

春なのに複雑な心境で、日が経つにつれ、なぜか私が寂しくなり、不安になってきています。親がこんなことではいけないと思う今日この頃です。

(山口加奈子)

◆春を迎えて

平成最後の3月、春分の日を過ぎ、二度も降雪がありました。上野公園では桜が満開だというニュースが流れていましたが、美術館のある八色の森公園にはまだ雪が残っています。といっても、あちらこちらで春の息吹を感じる毎日です。美術館脇の池では、アヒルとカモが軽快に動き回っています。

休日の昼、柔らかな風が心地よく、散歩の道すがら、残雪の隙間から露の臺が顔を出していました。これからは、あつという間に花の時期がやってきます。雪消えから大型連休明けまでの一か月あまり、次から次へと色の数が増えていくのです。

春を迎えた魚沼といえば、やっぱり山菜でしょう。今年は少雪だったので、収穫も早まりそうです。毎年、八海山麓スキー場で山菜天ぷらの会があり、春先の山を歩き、採ったばかりの山菜をいただきたいです。

一年でいちばん心が浮き浮きする季節がようやくやって来しました。

(高橋良一)



池田記念美術館

2019 年度 美術展覧会



①宇賀治徹男 水彩画展―農村で見つめて 50 年―

■ 4 月 6 日（土）～ 4 月 23 日（火）

三条市在住で、示現会会員の宇賀治徹男氏の個展。兼業農家のかたわら、50 年以上続けた水彩画で、自宅裏の信濃川の堤外地など、身近なモチーフと風景を叙情豊かに描く。今回の展覧会では示現会展に出品した大作を中心に、約 60 点を展示する。

②既視から未視へ―高橋洋子・霜田文子二人展―

■ 4 月 27 日（土）～ 6 月 3 日（月）

高橋洋子さん（銅版画、日本美術家連盟会員）と霜田文子さん（油彩とバーントドローイング、游文舎企画委員、展覧会などの企画に携わる）の二人展。技法や型にはまらない表現をしている芸術家同士のコラボレーションに注目です。

③〔特別展示〕僧侶 有沢昱由展

■ 5 月 25 日（土）～ 7 月 15 日（月・祝）

南魚沼市でケアハウス、ホームヘルプ、グループホームなどを展開している社会福祉法人桐鈴会の 20 周年記念展覧会。東京在住で新旧・日春会（日展の日本画部）会員の有沢昱由（いくゆう）さんの作品展です。芸術、医学、宗教の三つが見事に融合した「美・医・祈」の世界を紹介します。

④佐藤尚 風景写真展「47 ぼくのより道」

■ 6 月 8 日（土）～ 7 月 15 日（月・祝）

埼玉県に住む風景写真家・佐藤尚（たかし）氏の個展。土の匂いや人の温もりを求めて旅を続けるうちに撮られた写真は、見るものを優しい気持ちにしてくれます。全国 47 都道府県をめぐる撮影のための写真と、佐藤氏が“心の故郷”と言う「魚沼」の過去と現在を追った写真を一堂に展示します。

⑤第 20 回 八海山夢展

■ 7 月 20 日（土）～ 9 月 2 日（月）

地元の美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・工芸の 5 部門で作品を展示します。今年は 20 回記念展となり、記念誌の発行や祝賀会などの記念事業を計画しています。出展者との交流を図るイベントとして人気のある“美のツボ”を開催し、子どもから大人まで楽しめるよう企画します。主催は八海山夢展実行委員会です。

⑥〔同時開催〕第 2 回 八海山ジュニア展

■ 7 月 20 日（土）～ 9 月 2 日（月）

「八海山夢展」の期間に合わせて昨年から始めた企画展です。平成 30 年度新潟県ジュニア美術展覧会と新潟県中越教育美術展に入賞した南魚沼市内の児童生徒の作品を展示します。

⑦原田哲男 彫刻展

■ 9 月 7 日（土）～ 10 月 7 日（月）

旧新津市（現新潟市）出身でパリを拠点に世界的に活躍する彫刻家・原田哲男氏の個展です。自然をイメージの源泉に、日本とフランスの二つの文化を融合し、数々の公共モニュメントも制作する原田氏の彫刻家生活 50 年の集大成となる展覧会です。

⑧〔特別展示〕触れて楽しむ美術展 in イケビ（予定）

■ 9 月 15 日（日）～ 10 月 7 日（月）

全国障害者芸術・文化祭にいがた大会連携事業として予定。魚沼地域在住者を中心に県内の造形作家の作品を展示し、実際に作品に触れて楽しむ鑑賞方法を提案。視覚以外の知覚を使って美術を体験します。

⑨第 3 回 八色の森の美術展 + 八色の森の子ども絵画展 2019

■ 10 月 13 日（日）～ 11 月 30 日（土）

現代アートの作家 30 人以上が出品し、地元の児童生徒の作品と一緒に共同展示するという画期的な試みと、多彩な関連イベントによって、各方面から高く評価されている展覧会です。今回で 3 年連続の開催です。アートの力で学校や地元地域と連携します。

⑩池田記念美術館 所蔵品展

■ 12 月 6 日（金）～ 12 月 24 日（火）

開館 20 年を経過し、当館の所蔵品を改めて紹介します。スポーツをテーマにした絵画、文豪の書、書家であり歌人でもある會津八一の作品、ラゲザ玉の油絵、東ヨーロッパの美術品、敦煌の壁画など、多彩なコレクションを展示します。

⑪第 64 回 南魚沼郡市児童生徒美術展

■ 1 月 6 日（月）～ 1 月 21 日（火）

南魚沼市及び湯沢町の子どもたちの作品約 500 点を

展示。子どもたちの創作意欲が「いきいき」と伝わってくる展覧会です。ご家族で来館していただけるよう、期間中は入館無料となります。

⑫魚沼ベストショット展 Part Ⅸ

■ 1 月 25 日（土）～ 3 月 2 日（月）

県内外の写真家約 50 人と特別参加の高校生が、魚沼地域の変化に富んだ美しい自然・風景や暮らしなどを撮影した自慢のベストショットを発表する写真展です。今回で 9 回目の開催となります。

⑬井口優 絵画展

■ 3 月 6 日（金）～ 4 月 6 日（月）

南魚沼市在住の井口優氏による画集出版記念展。地元の大沢和紙を何層にも貼り合わせ、その上に絵具を厚く塗り重ねていく独特の技法で、八海山や尾瀬、モンゴルの草原などを描いた作品を紹介します。

⑭〔冬季特別展示〕第 3 回 錯覚展

■ 1 月 25 日（土）～ 4 月 6 日（月）

大好評の「錯覚展」を 2 年ぶりに開催。世界錯覚コンテストで 3 度優勝した錯視の世界的権威、東大名誉教授・杉原厚吉先生が制作した、実際とは違うように見えてしまう不可思議な作品を多数展示。併せて 3 月には「雪の錯覚すべり台」を披露します。

「八色の森の子ども絵画展 2019」作品募集

【募集対象】 小学校・特別支援学校の児童
※学校や絵画教室などからの一括応募も歓迎します。
【募集作品（テーマ）】
抽象絵画に挑戦しよう！
（あなたが今まで描いたことのない、あなただけの絵）
【応募について】
●四切り画用紙サイズ（38cm×54cm）以下、厚み 3cm 以内
●応募作品は未発表のものに限ります
●作品は期間中、館内に展示します
【応募締切】 2019 年 9 月 20 日 ※応相談
※詳細については池田記念美術館・高橋までお問い合わせください。案内書をご用意いたします。
※児童を対象にした抽象絵画の出前教室などを企画しますので、ご相談をお待ちしております。

《常設展示》

①小泉八雲文学資料室

■ 小泉八雲に関する国内屈指のコレクション。

②スポーツ文化資料室

■ 野球、相撲、オリンピックなどの資料を展示。

③スポーツカードの展示

■ 「ベースボールカード」などを随時、展示。

《援助事業》

公益財団法人池田記念スポーツ文化財団は、新潟県におけるスポーツと文化の発展に寄与することを目的として、以下の補助金対象事業を公募いたします。

環日本海沿岸諸国とのスポーツ国際交流援助事業

【援助内容】 公募により、環日本海沿岸諸国とのスポーツ国際交流事業に対して援助します（1 件 10 万円、2 件以内）。

【応募締切】 2019 年 9 月 30 日
.....

【応募方法】 当財団のホームページから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入して提出。郵送またはメールで受け付けます。

<http://www.ikedart.jp>

【選考方法】 選考委員会の審議を経て決定します。選考にあたっては、必要に応じてヒヤリングを行う場合があります。

《イベント情報》

①一箱古本市@池田記念美術館〈初夏篇〉

■ 6 月～ 7 月予定
美術館のエントランスホールを舞台に、古本出展者が一人一箱のワイン箱に書店名をつけて、店主選りすぐりの古本を販売。たくさんのお客が集まります。

②一箱古本市@池田記念美術館〈厳冬篇〉

■ 2020 年 1 月予定
冬景色を楽しみながら、お気に入りの本を探そう！

③真冬のクラフトマーケット「雪見展」

■ 2020 年 1 月 12 日（日）～ 1 月 13 日（月・祝）
毎回 2,000 人以上の来館者で賑わう新年の一大イベントです。今回で 6 回目の開催となります。手仕事の展示販売、ワークショップ、リラクゼーションコーナー、美味しい食品コーナーなど多彩なショップが大集合します。どんなショップが登場するか!? 楽しみにお待ちください。両日とも入館無料です。

BBM スポーツカードショー

① BBM スポーツカードショー 2019 春の陣

■ 2019 年 4 月 7 日（日）

② BBM スポーツカードショー 2019 秋の陣

■ 2019 年 11 月中旬予定

③ BBM スポーツカードショー 2020 冬の陣

■ 2020 年 1 月中旬予定

農村で見つめて

宇賀治徹男

この度、素晴らしい会場で個展開催の機会を与えていただいた池田記念美術館に心から感謝申し上げます。

勤めと農業のかたわら、好きな水彩画を描き始めたのが30歳代半ばです。約50年間の身のまわりの情景や自宅の裏を流れる信濃川の河川敷に広がる畑地帯をテーマにありふれた水彩画を描いてきました。

特に晴れた日の夕暮れ、西の方角を眺めると、川原畑と信濃川、その先にシルエットになった弥彦山が見えます。これは子どもの頃から見つめてきた風景です。

その一方、退職したら車で好きな風景を生きてまわることが夢だったものの、現実にはなかなか難しかったのですが、思い出に残る作品が少し手元に残っていました。

個展のお話を頂戴してから、これまでの作品を整理し「農村で見つめて五十年」と「スケッチの思い出」の二つの構成で展示することと致しました。平凡な水彩画ですが、ご覧のうえ少しでも親しみを感じてくだされば幸いです。



宇賀治徹男「青いバケツ」

池田記念美術館 展覧会・イベント情報

■宇賀治徹男 水彩画展—農村で見つめて五十年—

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：4月6日(土)～4月23日(火)

1933年、新潟県三条市生まれ。新潟大学農学部を卒業後、兼業農家のかたわら、30代半ばから水彩画を始めて半世紀になる宇賀治徹男氏の個展です。自宅裏に広がる信濃川の堤外道をテーマにした作品には、蒲原平野のありふれた風景ながら、奥深い詩情が感じられます。今回の展覧会では、水彩画を中心に約60点を展示します。宇賀治氏は現在、日展会友、示現会会員、新潟県美術家連盟会員。

【ギャラリートーク】4月6日(土)、13日(土) 両日とも14時～15時

■〈次回展覧会〉既視から未視へ—高橋洋子・霜田文子二人展—

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：4月27日(土)～6月3日(月)

高橋洋子さん(日本美術家連盟会員、新潟市在住)と霜田文子さん(文芸同人誌「北方文学」同人、游文舎企画委員、柏崎市在住)の二人展。美術の技法や型にはまらず、独自の表現方法を追求する芸術家同士の注目のコラボレーションです。高橋さんは銅版画だけでなく、版画と金属など異素材を組み合わせたレリーフを出品します。一方、霜田さんは油彩とバーントドローイング作品を展示します。

【ギャラリートーク】4月27日(土)15時～16時

【詩の朗読会】5月5日(日・祝)13時～14時 朗読：鈴木良一、館路子、魚家明子ほか

【ワークショップ・火遊びでアート】5月6日(月・振休)10時30分～12時

【ワークショップ・ドライポイント】5月11日(土)12時～16時

※ワークショップの内容・参加費など詳細は美術館までお問い合わせください。



高橋洋子「ヴァニタス vanitas」



霜田文子「遊行 2016～2019」

池田記念美術館の年間パスポート！

料金 3,000 円で発行日から1年間有効。有効期間中に開催される全ての展覧会と常設展が観覧できます。特典として、①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒーチケット2枚をプレゼントいたします。

【押し花体験会】

5月4日(土・祝)13時～16時

講師：関 厚子さん

絵はがきや額などを作ります。

材料費 200～2,000 円

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」※入場無料

4月28日(日)11:30～ 月例音楽会(フルート、ピアノ、ギター) 14:00～ フォークソングの日

5月5日(日・祝)11:30～ 月例音楽会(フルート、ピアノ、ギター) 5月26日(日)14:00～ フォークソングの日

■風薫る五月のコンサート 5月19日(日)13:30～ 歌とピアノでドビュッシーの小曲やイギリス民謡を紹介。※入場無料

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)

【入館料】一般 500円 高校生以下無料

【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【4月、5月の休館日】

※水曜日(4月3日、10日、17日、24日、5月8日、15日、22日、29日)

※4月4日(木)、5日(金)、25日(木)、26日(金)は展示替えのため臨時休館です。 ※5月1日(水)は開館します。